

学校 教育 目標	自分の思いや願いを実現してベストスマイル			
	○基礎・基本を身に付け、自ら問題を発見し、よりよく解決する力を育てます。(知) ○自分を大切に、しなやかに生きる力を育てます。(徳) ○規則正しい生活を心がけ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。(体) ○まちを愛し、地域や社会のために、他者と協働する力を育てます。(公) ○自分を見つめ、多様性を尊重し、共生する力を育てます。(開)			
学校 概要	創立 93 周年	学校長 寶來 生志子	副校長 臼井 亮司	2 学期制 一般学級: 13 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 326 人	主な関係校: 菅田中学校・菅田小学校・羽沢小学校・池上小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		・習得した知識を活用して問題解決できる子 ・互いに表現し合い、自分の考えを深める子 ・自ら行動し、粘り強く取り組む子 ・小中の連携を深め、授業参観を通して互いに授業力の向上を目指す。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会の設定。 ・「9年間で育てる子ども像」を見据えた教育課程の編成。
自分で考え、判断し、行動する力	菅田中学校 菅田小学校 羽沢小学校 池上小学校	

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりを大切に、笑顔あふれる学校にします。 ・子どもの視点に立ち、学ぶことの楽しさが実感できる授業づくりを目指します。 ・自分の思いや考えを自分の言葉で自信をもって表現する子を育てます。 ・豊かな体験を通して「手応え感覚」を味わえるようにします。 ・池上の子どもたちを教職員全員で育てます。 ・自分や友達のよさや違いを認め合えるようにします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①重点研究である「生活科・総合的な学習の時間」の学習を核にして、地域の人・もの・ことと関わる体験の機会を充実させ、生活の中で活用することのできる知を獲得できるようにします。②日頃の授業の中で、話し合う機会を積極的にもち、仲間の意見を共感的に聴く力を育てていきます。
担当 研究推進部	
豊かな心	①他教科との関連を図りながら道徳の授業実践を考え、指導を行います。②子どもたちに豊かな人権感覚が身に付くよう、子どもについての気付きを学年やブロックで共有し、授業プランを考えていきます。③各学級年に1回、道徳の授業を家庭や地域に公開します。
担当 豊かな心部会	
健やかな体	①朝の時間を有効に使い、体力アップにつながる取り組みを行います。②体力テストや健康診断の結果等を保護者と共有し、家庭や地域と連携して、体力の向上、生活習慣の改善を行います。③学校保健委員会を開き、保健委員会や各クラスで取り組みを考え、実践していきます。
担当 体育部・保健部	
児童生徒指導	①あいさつの取行や、菅田中ブロックの生活スタンダードをもとに、基本的な生活習慣の指導を積み重ねていきます。②毎月の情報交換以外にも、必要に応じて全職員が情報共有し、連携して指導にあたる時間を確保します。
担当 特別支援・児童指導部	
特別支援教育	①子どもの教育的ニーズを的確にとらえ、本人や保護者の願いも聞きながら、個別の支援計画を作成します。②学習支援がより効果的にできるように、学習ルームを活用します。③外部の専門機関とも連携して、児童理解や指導力の向上を図ります。
担当 特別支援・児童指導部	
地域連携・ 学校運営協議会	①地域の特色や保護者・地域の方の力を活かし、児童にとって、より必要感や成就感のある教育活動を実践すると共に、開かれた学校づくりに努めます。②見守り隊や地域の協力者と児童が近い関係になれるようにします。③ホームページで、学校の様子を毎月更新できるような体制づくりをします。
担当 教務部	
自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域から学ぶ機会を進んで取り入れ、子どもたちが「手応え感覚」をもち、自己有用感を高められるようにします。②近隣の園を中心に来年度入学する園児との交流会から取り組みを始めているスタートカリキュラムで安心感をもって自分の力を発揮できる子どもたちを育てます。
担当 研究推進部	
安全教育	①学校全体で危機管理に対する意識を高め、災害等に適切に対応できるような校内組織体制を整えます。②警察や交通安全協会、家庭や地域との連携を図りながら防災・安全指導を継続して行い、児童の安全意識の向上を図ります。
担当 安全部	
いじめへの対応	①いじめ防止対策委員会を毎月開催。必要に応じて臨時に行い、早期把握・対応に努めます。②情報共有を行い、教職員のアンテナを高くし、児童のサインを見逃さないようにします。③児童の心の動きをとらえるための、カウンセリングスキルを高めるための研修を行います。
担当 特別支援・児童指導部	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①授業研究を通して、授業力や児童指導力向上のための手立てを積極的に学びます。②メンターチームの取組ではミドルリーダー・主幹教諭を中心に、経験年数の少ない教職員を全職員で支援します。③ブロック学年研を設定して情報交換をしたり、児童理解・特別支援の研修を全職員で行ったりして、一人ひとりに寄り添った支援・指導の充実を図ります。
担当 教務部	